

議論を進めていくことになった。

副部長：石丸裕康，委員：網谷真理恵，大脇哲洋，高橋弘明，高橋誠（担当理事），谷崎隆太郎，西屋 克己，三原 弘，守屋利佳，

*1 Undergraduate Clerkship Subcommittee

*2 Hitoshi Hasegawa

22. 臨床研修部会^{*1}

松島 加代子^{*2}（部会長，長崎大学病院医療教育開発センター）

2020年度の臨床研修制度の改定，さらにCOVID-19感染流行により社会の大きな変化が起こった。臨床研修の研修環境の見直しが必要となったと同時に，臨床研修教育の在り方，現場のニーズを見つめ直し，変革するチャンスとも認識している。

臨床研修部会の前身は，第20期卒後・専門教育委員会である。卒後・専門教育委員会においては，研修医 OSCE について課題を作成し，岩手県，愛媛県等の希望する団体に対し課題の提供や支援を行った。臨床研修部会では，このことを踏まえ，下記の3つの事業を順次計画していくこととした。

1. オンラインワークショップ

臨床研修制度改定を受けて，ワークショップ「臨床研修を練る会議」をオンラインにて開催した。大学病院，臨床研修病院から，プログラム責任者，指導医，事務，さらには，行政と様々な立場からの参加があり，約100名で意見交換を行った。「外来研修」，「評価」を2大テーマとし，12グループに分かれて，研修制度改定後の課題についての議論と，good practice の共有を行った。外来研修のための施設環境整備，指導医の配置など，評価については，評価票の運用，EPOC2の利用方法と課題などが発表された。

厚生労働省医政局医事課に参画いただき，「働

き方改革」に関して情報提供および臨床研修制度改定全般の情報交換を行った。臨床の現場では，医学教育に関する情報が届きにくい現状があり，併せて研修制度整備に際して，現場の声を届ける機会が継続的に必要であるとの声があった。参加者のうち希望者には，メーリングリストとして維持し，他イベントの告知など情報共有の場とした。2022年度学術大会において，続編として第二回ワークショップを開催予定である。

2. 臨床研修にかかるアンケート

全国の臨床研修実施施設を対象に，臨床研修の現場における課題やニーズ，特色ある取り組みの抽出を目的に2022年度アンケート実施に向けて準備中である。

3. 研修医 OSCE

全国の臨床研修施設に提供できる OSCE 題材を吟味した。前身である第20期卒後・専門教育委員会で策定された資料もあるため，修正および追加検討を始めている。とくに，2020年度の研修制度改定内容に合わせて，評価票を意識した課題を設定する予定である。2022年度完成を目標に，OSCE 資料を作成中である。

本部会の目的は，臨床研修における各施設の